

第1回静岡市文化振興審議会 議事録

日時：令和7年6月20日(金)10:00～11:15

会場：静岡庁舎新館9階 特別会議室

出席者：委員：別添名簿のとおり

文化政策課：望月課長、後藤課長補佐兼交流推進係長、三浦参事兼芹沢銑介美術館長、
多々良主幹兼まちは劇場推進係長、野末施設係長、石川文化振興係長
福原主査、伊藤主任主事、松井主事

(公財)静岡市文化振興財団：星野課長、荒井主事

【議題】

(1)令和7年度 静岡市文化振興審議会スケジュールについて

(2)静岡市文化振興計画 前期実施計画 令和6年度事業実施評価について

【報告】

(1)静岡市民文化会館 再整備事業進捗について

【記録】

	内容	
10:00	開会 課長挨拶	石川係長 望月課長
10:05	・委員自己紹介 ・事務局・オブザーバー自己紹介 ・会長 挨拶	
10:30	議事録署名人1名：遠藤委員 【議題1】 令和7年度 静岡市文化振興審議会スケジュールについて 資料説明 資料1 令和8年度 予算要求時期までに総括書を完成 各課に予算要求の際の参考資料として活用することを想定 質疑→なし	平野会長 福原主査
10:35	【議題2】 静岡市文化振興計画 前期実施計画 令和6年度事業実施評価について 資料説明 資料2 ・令和5年度評価総括書 振り返り(総括書に対する進捗報告) ・前期実施計画 令和6年度事業実施評価について説明 ※令和5年度→令和6年度事業数 214事業→189事業 事業数の変動は、静岡市歴史博物館の事業の掲載方法を個別事業ごとではなく、分野ごとの掲載に見直したことによるもの。複	福原主査

	数事業をまとめて分野掲載にしているため、数字上大きく減っているように見えるが、実際の掲載事業数はほぼ変更はない。 ・評価意見照会書(様式)について説明 質疑 ・目標値の設定方法は、一定なのか、昨年度の実績に基づいて修正しているのか。 ・各課が事業ごと質に応じて目標を立てている。一定の決まりがあってという訳ではない。集客を目標値としている事業は、コロナ終息後の数値を踏まえながら(コロナ前より上がり切れないもの、超えられるものなど)目標値の設定を行っているものもある。 ・事業評価はあくまで数字上の参考でしかない。例年継続している事業については、過去5年程度の参加者や入場者の推移があると(コロナ禍をどう捉えるかという問題はあるが)、評価の際の参考になると思う。単年度の評価だけを見て評価するのは難しい部分がある。主たる事業だけでもよい。 ・そういった数値(実績値の推移)を出すことは可能か。 ・入場者数という視点でやるとすると、文化政策課所管の4大まつりとストレンジシードなどは数値を出すことはできる。 ・評価が下がっている事業を見つけるという意味合いではない。評価が下がっていても推移を見ることが、これは必要だから続けるべきではないかという考え方ができるかもしれない。そういった参考データとして使用したい。 ・どの事業をどのように提示するかについては、検討したい。 ・表紙の事業数で見ると大きく減っているように見えるが、令和5年度から令和6年度にかけてなくなった事業はどれだけあるのか。 ・なくなった事業は、1事業(再掲を含めると2事業)である。23事業は、先に説明した歴史博物館の掲載方法の見直しによるもの。 ・細かく掲載されている事業はもう少しまとめて記載できた方がよいのではないか。(科学館の事業など) ・指定管理仕様書の表記に合わせている形になっていると思うが、次年度に向けて掲載方法を精査したい。 ・まとめられるものもあればまとめられないものもあると思うので、検討結果をフィードバックしてもらいたい。	久野委員 望月課長 海野委員 平野会長 望月課長 海野委員 望月課長 海野委員 福原主査 久保田委員 望月課長 平野会長
11:10	【報告】 (1)静岡市民文化会館 再整備事業進捗について	野末係長

	資料説明 ・入札不調を受けて改修内容を見直し ・着手予定の5つの改修は次のとおり。 ①特定天井工事 大・中ホールにある特定天井の落下防止措置、及びロビー棟の特定天井の軽量天井化を行い、大規模地震による被害を防ぐ。 ②屋上防水と外壁改修 屋上防水や外壁改修を行い、建物の経年劣化を補修し、安全性を確保する。 ③大・中ホールの座席更新 各ホールの座席を更新し、快適な鑑賞環境を確保する。 ④トイレのリニューアル・増設 既設トイレの洋式化や床、壁の更新を行う。各ホール及びロビー棟にトイレを増設し、来館者の利便性向上を図る。 ⑤設備機器の更新 受変電設備や非常用発電機などを更新し、突然の故障等による休館等を防ぐ。 ・実施設計と工事発注を切り離して実施 ・工期のスケジュールは動かさない	
11:15	事務連絡 閉会	石川係長

署名(会長) 平野雅彦

署名(委員) 遠藤次朗